

氏名・学年	〇〇 〇〇 (小学校 3年 男)		評価計画 (PDCA)	支援方法によって2週間～1ヶ月実施。各担当の教員から支援方法の成果についての情報を交換して、学期に1回支援方法の計画立案。		記入者 (参加者)	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
保護者 本人の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・国語が遅れているので力をつけてほしい。(保護者) ・みんなと同じように本読みができるようになりたい。(本人) 			担任の 願い	<ul style="list-style-type: none"> ・国語については、2学年相当の漢字を読んだり書いたりできる。 		
学習面	児童の実態	考えられる背景・要因	長期目標・短期目標	指導方法（手立て）	主な指導の場	児童の変容・評価	
	<ul style="list-style-type: none"> ・音読はたどたどしく、文字を抜かしたり、余分な文字を加えたりして読む。 ・形の似た漢字や意味の関連のある漢字を読み間違える。漢字を覚えることが苦手。 ・文字を視写することが難しい。 ・1年の漢字の習得は3割程度である。 ・算数では、時間はかかるが理解までできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どこを見ていいのかわからない。 ・漢字を覚えられない。 ・似た文字の区別がつかない。 ・言葉の意味理解ができていない。 ・語彙不足・経験不足。 ・目と手の協応運動。 ・覚え方、解き方がわからない。 	<p>長期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習った漢字を読むことができる。 <p>短期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生までの漢字を書きことができる。 ・2年生の1学期の漢字を読める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に振り仮名や言葉の区切りの印をつける。(保護者の協力) ・覚えにくい漢字の把握をし、覚え方の工夫をする。(言語化・絵・歌 等) ・カードに書き出した漢字を毎日読む。 ・2年の教科書から、本人が2行ずつ選択し視写をする。 ・学習方法の手順をカードに示す。 ・絵本や紙芝居の読み聞かせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体指導の場 (担任、T・T 担当) ・個別指導の場 (管理職等) ・個別指導の場 (担任) ・全体指導の場 (担任、T・T 担当) ・全体指導の場 (T・T 担当) 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭では、本人から「振り仮名をふって」と言ってくるようになった。 ・1年生の漢字の8割程度がすらすら読めるようになった。 ・視写では、苦手ながらも時間短縮できている。「もっと書きたい」と言う時もある。 	
生活 行動面	<ul style="list-style-type: none"> ・指示がとおりにくく、周りを見て物事に取りかかることが多い。 ・書く時の姿勢や、鉛筆等の用具の使い方がぎこちない。 ・机の上の鉛筆や消しゴムなどをよく落とす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の話を聞き取ることが難しい。 ・聞いたことをすぐに忘れる。 ・一つのこと集中すると次に移れない。 ・手先の不器用さ。 	<p>長期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の話を最後まで聞く。 <p>短期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話す人の方を見る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律の徹底をする。 ・発問や指示をする時には、注意喚起をする。 ・聞いている時には、意識をして答める。 ・覚えておかなければならないことは、カードで視覚的に示す。 ・手先の不器用さについて、楽しいゲームや作業の中で指先の力をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体指導の場 (担任) ・全体指導の場 (担任) ・個別、全体指導の場 (担任) ・個別指導の場 (T・T 担当) ・個別指導の場 (T・T 担当) 	<ul style="list-style-type: none"> ・意識して注意喚起することで、以前より聞ける態度が増えてきた。 ・全体的に学習規律ができはじめた。 ・何をしていたのかわからない時に友だちに聞けずに困っていたが、このカードの利用の仕方が本人に分かり自信をもって動けるようになってきている。 	
社会性 対人関係	<ul style="list-style-type: none"> ・トランプやカードゲームで友だちとよく遊ぶ。 ・先生や友だちに自分から声をかけることは苦手である。 ・自分がどうしていいかわからなくなった時に動けなくなってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びをとおしては、友だちとかわるることができる。 ・なんと言って声をかければいいのかわからない。 	<p>長期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の中で、困った時にどうしたらよいか分かる。 <p>短期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級での活動場面で「分からないので教えて」「ありがとう」が言える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活場面での会話のスキルを学ぶ機会を増やす。(個別で・学級で) ・実際の場面を4コマ漫画で視覚的に表現し、どう言えばよかったのかを学ぶ。 ・本人が困った時には、個別に説明をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別、全体指導の場 (担任) ・個別指導の場 (担任、T・T 担当) ・個別指導の場 (担任、T・T 担当) 	<ul style="list-style-type: none"> ・3回に1回ぐらいは、担任との合図で自分から言える。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・着替えや給食、掃除等の取りかかりや作業に時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべきことの手順がわからない。 ・筋力が弱い、バランスが取りにくい、不器用さがある。 ・作業に慣れていない。 	<p>長期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えて着替えることができる。 <p>短期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着替え表を見て時間内に着替えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の手順を視覚的に示す。 ・充実した体育の時間保障や休み時間の中で筋力をつける。集会等での楽しい工夫。 ・活動のはじめに声をかける。 ・友だちとの助け合い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、休み時間 (担任) ・学年集会、なわとび週間等 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の着替えや当番活動については、手順表を見てできた。 	